

「手縫い糸によるワイヤーアート」

高知県立宿毛高等学校 宮地 満

学校紹介：学年生徒数が約150人の全日制総合学科の高校である。美術授業は1年次に美術1、2年次は総合美術Ⅱ・絵画・陶芸、3年次は総合美術Ⅲ・素描・陶芸を選択できる。2、3年の授業は少人数でも開講される。

対象学年：2年生6名 所要時間：10時間

題材設定の理由：平面作品に偏りがちなので、立体や工芸の課題の要望があった。色彩の学習で混色を学び、並置混色やグラデーションも同時に体験できる課題として選択した。この課題は完成までに様々な行程と地道な作業を要求されるため、根気のない生徒にとっては辛い、完成時の満足度と慣れるに従って作業の効率が上がり、夢中になれる（ハマる）ものでもある。

準備するもの：材料 コンパネ、墨汁、釘、手縫い糸、瞬間接着剤、A3紙

工具 鋏、ラジオペンチ、カッター

製作手順

① 台紙を板に貼る。

②-1 台紙の印に合わせて釘を打つ。

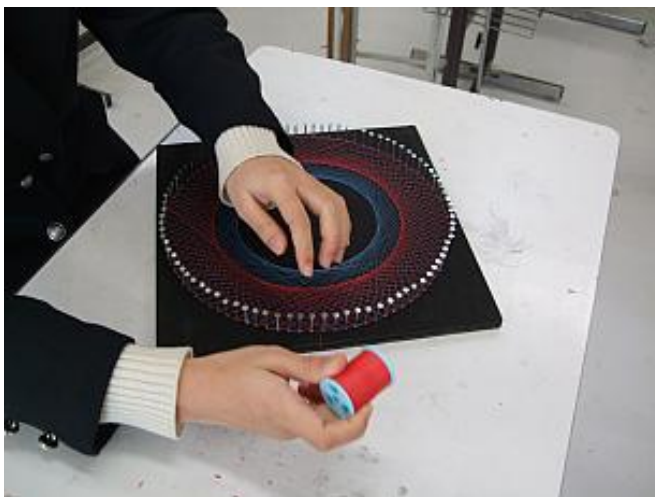
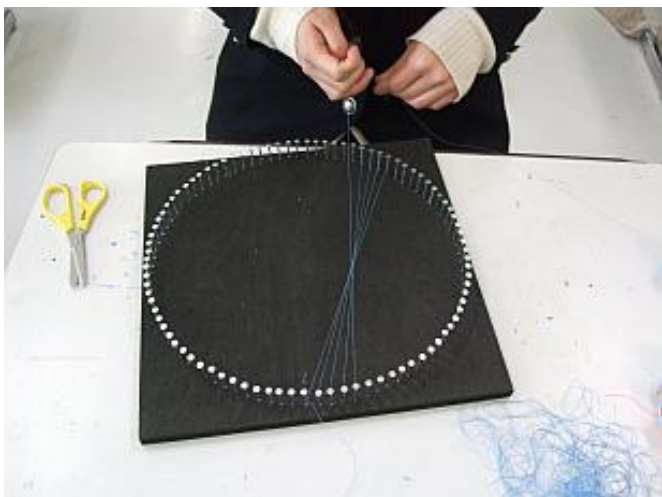


②-2 釘の高さや垂直を見ながら円形に並べる。③釘打ち終了、台紙をきれいに剥がす。↓円形に修正する。

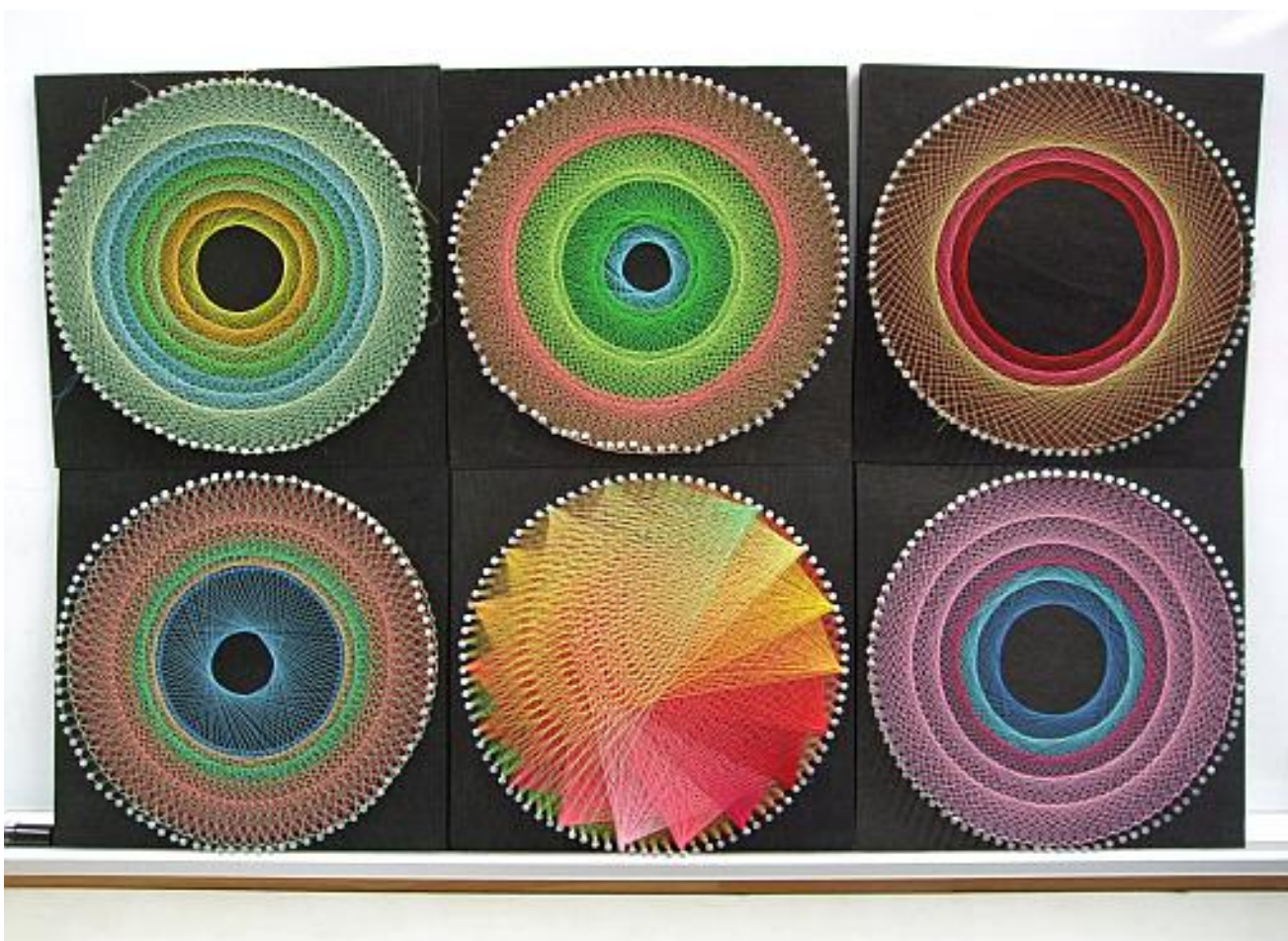


③ 配色を考えて糸を張る。

④ グラデーションや混色の効果を観る。



④ 糸の高さを調整し、結び目を接着して完成。予定時間内に全員完成。見事な作品に満足。



まとめ：図形の検討から始まり、平面から実際の製作に入ると釘がうまく打てなかったり、糸が絡まったり、数を間違えたり、気に入らなくて途中からやり直したりそれぞれ苦労があったが、なんとか完成して自分の作品に喜びを感じてくれた。指導して想定外の問題や詰めてないところもあり、その都度意見を出し合いながら進行して次回に繋がる改善点もあった。色々な形や色の組み合わせをさせる方が面白いが、基礎的な学習として共通のもので取り組んだ。結果として生徒同士が教えあったりする場面も多く、個別に作品を作っているのだが共同制作の雰囲気も出てきて有意義であった。